

3月2日(水)にオンライン開催された「大宮東ロータリークラブ例会」に、高校2年13組の山口隼弥君(部長)と高校1年3組の宇野澤すみれさんが参加をさせていただきました。例会の次第の最後に設けて頂いた「卓話」におきまして、『芝川で実施をした過去数年間の水質調査の結果と清掃活動調査の結果と考察』をテーマに、口頭発表を致しました。発表をおこなった山口君は、2月にオンライン開催をされた埼玉県主催の「川の再生交流会」での発表(10分間)に次ぐ2回目の登壇で、今回は20分間余りのプレゼンでしたが、落ち着いてはっきりとした口調で丁寧に語っていました。公的な場での発表も、経験の積み重ねが大切であることを改めて実感しながら、見守ることが出来ました。創部(1988年)以来、先輩から代々引き継がれてきた芝川研究のバトンを、43期生(現 高校2年)の生徒たちも確実につないでくれていることに感謝しております。同席をした宇野澤さんも、しっかりとした先輩の姿を見て学べる場所が多かったと思います。

